

真室川小学校 河川愛護モニター通信

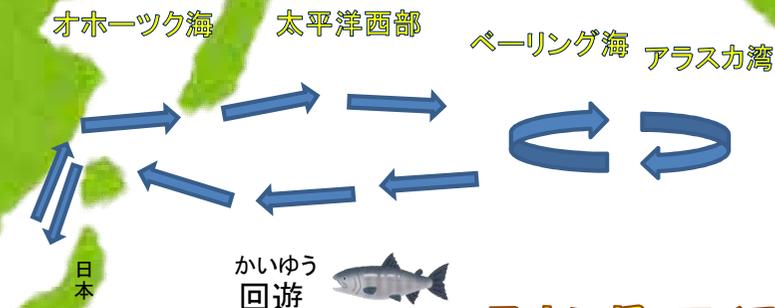
真室川小学校の児童から国交省鮭川出張所への質問・報告と、出張所の回答をご紹介します。

学校で育てた鮭の稚魚^{ちぎよ ほうりゆう}を放流した。元気よく泳いでいった。海にこのまま泳いで行き何年か後にこの金山川^{かねやまがわ}にもどってくるそうだ。何で戻ってこれるんだろう？不思議^{ふしぎ}です。教えてください。

鮭はどうして自分の生まれた川にもどってくることができるのか色々な説があるそうですが、昼間の太陽^{ひるま}の位置^{いち}や、地球の磁気^{じき}などによって方角^{ほうかく}を決定しているのだろつとされています。そして自分の生まれた川の近く^{えら}に帰ってきたサケはおぼえていた川のおい^{えら}をたよりに川を選んでのぼってくるそうです。



鮭は海を旅して大きくなり
約4年で日本に帰ってきます



日本に帰ってくるのは、
100尾の内2~3尾です。

回遊: 魚などが適水温を求めて季節の移り変わりに応じて移動・往復すること

(サケ) について

秋になると多くのサケが海から川へ戻ってきますが、鮭川には毎年10,000尾ぐらいのサケが戻ってきているとされています。

最上地方では、むかしからサケを食べるだけではなく、たくさんのサケがこれからも生まれた川に戻ってくるように、稚魚=(サケのこども)をそだてて川へかえす取り組みをしています。